

## 少年の主張吾妻地区大会

8月20日、東吾妻町コンベンションホールにおいて、平成24年度少年の主張吾妻地区大会が開催されました。郡内各中学校の代表が集まり、それぞれが自分の思いを主張しました。

本村からは三年生の古俣ほのかさんが『自分らしさ』と題して、素晴らしい発表をしてくれました。その作品をここに紹介します。

### 『自分らしさ』（少年の主張吾妻地区大会優秀作品）

高山中学校三年 古俣 ほのか

私は自分に自信がありませんでした。もしかしたら、これをしたらかう見られる。こう言われる。そればかりを考えていたような気がします。とにかく人の目が怖かった時がありました。正直、学校に行っても楽しいかと問われれば、楽しくないと思ってしまう自分がいました。部活動のバレーボール



部でもうまくいかない自分がいて、何でもかんでもできないのだから、なんでみんなについていけないのだろう。そんなことばかり思っている行動を気にしていた日々がありました。

入部したときの頑張ろうという気持ちもどくに薄れてしまっていた頃、職場体験学習がありました。それまでの私は、みんなと一緒にの所へ黙ってついて行くのが良いことだと思っていました。同じことをしていれば、何か言われる心配はないからです。ですが一度しかない職場体験学習で、周りに流されたくないと思っている自分もいました。不安はありましたが、自分の一番行きかけた場所、一人で行くことに決めました。そこは、私の夢の一つであるラジオパーソナリティの仕事ができるラジオ

才局です。一日目は、番組で流す曲の準備を手伝いました。二日目は、生放送の番組内で十分間、ラジオパーソナリティとしての体験をさせていただきました。私は用意しておいた原稿を手に、自己紹介や学校やクラスの様子を話しました。聞いている人にわかりやすく、明るい声ではっきりしゃべるように心掛けました。この二日間、ただ言われたことだけをやっては、たまたまのことだけをやったのには不安な気持ちも少しありました。でも、私が一生懸命やったことをいろいろな人が褒めてくれました。職場体験は私に、「自分だってできるんだ」という自信と勇気を持たせてくれました。それと、自分を見直すきっかけを与えてくれました。ラジオ局の人は自分の意見をしっかりと持っていて、情報やモラルを守ってお互いに信頼しあっている様子です。パーソナリティは、人を傷つけたり、ラジオを聴いている人を不愉快にさせるようなことは言わないそうです。ラジオ局で働く人達のことを知り、私は今までの自分が恥ずかしくなりました。

この職場体験学習により、それまでだったら「うまくできないから嫌だな」と思ってしまったことも、「今、自分には何ができるだろう」と考えられるようになった。自分も、いつも感じていた、自分が否定されているような居心地の悪さが消えて、「自分はみんなと違っていい。できなくてもいいんだ、できなかつたら自分にできることを探そう。私にだって何かできるんだ。」そう思うようになりました。ただそう思っただけで、部活や学校が本当に楽しい場所だと思えるようになり、部活では、試合で大きな声を出すようにしました。声を出してみても、サーブやレシーブ、スパイクも大事だけれど、声を出すことはとても重要なことだとわかりました。声一つでもチームの役に立ち、チームが変わる。最後の総体に向けてみんなで目標を一つにして頑張れるようになったことも、私の心の励みになりました。

8/10~27

## 地域づくりインターンの会 都会の若者たちの来村！

8月10日～27日の17日間、首都圏の大学生から構成される「地域づくりインターンの会」の学生7名が来村、ふるさと祭りの手伝いをはじめ農作業手伝い、青空市の運営、郷土料理作り体験、そばアート作りなど様々な活動を行いました。

初めての農作業では苦勞しながらも、普段食べているものがこうして手間をかけて育てられ、消費者のもとへ運ばれるのだと知り、農業を身近に感じたようです。

24日には活動をまとめた報告会を行い、村の豊かな自然、温かい村民性を活かした農家民宿を推進していくべき、と提言。また、採れたて野菜のおいしさ・温かく受け入れてくれた村の人々の心、星空の美しさに感動した、人生において大切なことを学べた、村が大好きになったなどと感想を述べました。

ご協力頂いた皆様、大変ありがとうございました。



高山きゅうりの選別 川でみょうが洗い なすの袋詰め トラクターにも挑戦！



農家の方と交流会 8.14ふるさと高山コーナー担当

8/25

## 「若妻の日」 普通救命講習会

本来の若妻の日より一週間早い、8月25日（土）いぶき会館にて19名の参加者が東部消防署中之条分署職員3名の方から救命講習を受けました。

救急車が来るまでに応急手当や救命処置ができる自分でありたいとの強い思いから、また、何度受講してもうっかり忘れていたことや、新しい方法等の確認ができるため会員達は真剣に職員の説明に耳を傾け、積極的に救命処置の手順を実践しました。

「傷病者に普段どおりの呼吸がない時には、直ちに胸骨圧迫を全身に血液を送ることが重要。」と圧迫する場所、強さ、速さ等を実践を通して繰り返し職員から指導を受け、あつてはならないが、そばに居合わせた人が処置の仕方を知っていることや処置ができることが運命を大きく変えることにもなると強く感じました。

充実した「若妻の日」になりました。



真剣に「強く、速く、絶え間なく」胸骨圧迫中

8/26

### 役原獅子奉納

8月26日(日)、役原地区の諏訪神社で役原獅子が奉納されました。

この獅子舞は氏神の神鎮め、五穀豊穡・悪魔退散・氏子安泰等を願い、獅子は神の使いとなつて行う厳粛な行事で、村の重要無形民俗文化財に指定されています。

練習は本番10日前から毎晩行われ、奉納前日は地区の方々が集まって準備を行い、踊り子は毎戸を回って悪魔払いを行います。夕方にはブツツォレエと呼ばれるリハーサルが公



民館で行われ、当日を迎えます。



8/31・9/1

### 東京で村のPR！ 野菜販売

8月31日、9月1日に東京銀座にある群馬県アテナショップ「ぐんまちゃん家」で県立ぐんま天文台と共に村のPR、野菜の販売を行いました。試食ではトウモロコシの甘みに驚かれる方が多く、持ってきた野菜は例年通りあつという間に完売でした。多くの方に村の新鮮野菜の魅力に触れていただくことができました。

また9月1、2日には東京・原宿駅近くで、村の無農薬野菜の販売と村や野菜をモチーフにした絵画展示「Yaoya de art」がNPO法人上州高山・竹俱樂部他2団体の主催で開催されました。人通りが少ない会場のため、首都圏在住の村出身者や主催者の友人に声を掛けて集客し、結果として2日間で約200名に覗いていただきました。その場の試食ではピンとこなかった方も、その夜食べてみると「高山村の野菜はとても美味しかったです。味が濃いですね。」などの反響がありました。初日夕方の「野菜ステックパーティー」には、約50名が参加し、村の野菜をつまみに歓談されていました。関係者の皆様ご苦労様でした。



ぐんまちゃん家



Yaoya de art

8/29

### 減る脂教室最終回

8月29日(水)に減る脂教室の最終回が行われ、いぶき会館で「高山かるた」を使った運動を行いました。

まずは高山かるたを一人一枚ずつ持つてじやんけん列車。リズムよく歩きながら行い、最後には一列の長い列ができました。

次に大きな円になってかるたゲーム。読み札が読まれると、取り札が置いてあるところまでダッシュ！取ったあとは読み札を復唱しました。高山村について学びながら、楽しく運動することができました。運動をした後には500kcalに制限された昼食を



いただき、食事の面でも体を気遣うことができました。



9/10~14

### 若葉のふるさと協力隊来村

9月10日から14日までの5日間、男子7名(うち1人が韓国からの留学生)女子1名の学生が米村し、農作業やこんにやく作り、蕪そうり作りなどを体験しました。

参加の理由は自然の中で農業体験がしたい、地域の役に立ちたい、日本の農村の現状を知りたいなど様々でした。殆どの学生は農業の経験がありませんでしたが、皆一生懸命作業に取り組んでおり、それぞれ得たものがあつたようです。

13日に役場で行われた報告会では、村に来て感じたことや気づいたこと、問題点などをお話してもらいました。村の感想として、人が温かく親切、居心地が良い、花いっぱい運動の花壇の整備がきちんと行われているなどがあげられました。また実際に農作業をしてみて、作物を作る大変さを学んだという声が多くありました。今回の短期プログラムにご協力頂いた農家の方を始めとする村民の方々、本当にありがとうございます。次回は12月に行われます。お楽しみに！



枝豆収穫



枝豆を計って袋詰め



枝豆もぎは根気がいるね~!!



高山村の皆さん!!お世話になりました!! わらそうり、むずかしいっす!!



名残り惜しくてなかなか手を離さない農家の方と学生

9/14

### 「心に響け カンタンの声」

9月14日(金)、第1回「矢島稔と高山村でカンタンを聴く会」が、たかやま高原牧場に開催されました。前橋・高崎方面の参加者と村内の皆さん約60名が午後6時ふれあいプラザに集合し、ぐんま昆虫の森の矢島稔園長より、秋の虫の音色を楽しむ文化と、カンタンの生態についてお話をいただきました。その後たかやま高原牧場に移動し、カンタンの鳴き声を楽しみました。

矢島先生は、ラジオの「子ども電話相談室」でおなじみですが、この高山村から自然保護の大切さと、素晴らしいカンタンの音色を発信していきたいとの事でした。



耳に手をあてて聴いてください



9/1

9/16

9/17

## 神社秋の祭典



太々神楽 (尻高)



かさぼこ作り (尻高)

9月1日は中山神社、16日は尻高神社、17日は三島神社で秋の祭典が行われました。尻高神社では前日から役員の方が境内の清掃やかさぼこ作り等の準備を行い、当日は、太々神楽が奉納され、投げ餅やお赤飯等が振る舞われ、子供から大人まで楽しんでいました。



三島神社



尻高神社



投げもち (尻高)



9月17日の敬老の日を中心に村内に在住する高齢者の方々を慶祝訪問し敬老祝金が支給されました。90歳以上の方は村長が、80歳から89歳の方は各地区の民生委員さんが訪問し皆様の元気な様子を確認してまいりました。これからも、皆様が末永く健やかに暮らせませすよう心よりお祈り申し上げます。



9/17

## 高齢者慶祝訪問が実施されました

年齢層	原	本宿	新田	五領	判形	役原	関田	戸室	火の口	北之谷	熊野	梅沢	茶屋ヶ松	老人ホーム	計
90歳以上	5	9	5	6	16	4	6	4	2	1	7	2	1	17	85
85歳から89歳	15	28	23	9	24	6	13	5	10	2	9	5	0	11	160
80歳から84歳	31	34	31	17	31	12	15	13	8	15	6	5	3	8	229
計	51	71	59	32	71	22	34	22	20	18	22	12	4	36	474